



志學館大学生涯学習センター通信

かごしま県民大学連携講座「ライフイベントに活かす家族論」

私たちの生活は、生涯にわたって「家族」にまつわる出来事から大きな影響を受けます。そこで、子育てや就職、転職、行事、介護、資産運用、年金など、様々な希望や課題と次々に出会う中で役立つ知識に触れて頂こうと、公開講座「ライフイベントに活かす家族論」を企画しました。同講座は、平成26年10月25日(土)10時より、かごしま県民交流センターにて、学生も運営に関わり開催されました。趣旨説明がなされた後、まずはモチベーション論から野上真講師(社会心理学)の講義「やる気の科学」が行われ、図や画像でわかりやすいスライド資料をもとに、様々な場面ですぐにでも活用できる理論が解説されました。次の講義「ストレスとうまく付き合うコツ」では、白井祐浩助教(臨

床心理学)の柔らかな語り口によりストレス・マネジメント論が展開され、今日の社会で必要な考え方や情報を得ることができました。どちらの講義でも事例や個人ワーク、ディスカッションなどが効果的に取り入れられたため面白く、受講者の理解を助けたと思います。退職後にご夫婦で参加された方々から在職中の社会人、そして学生まで、年代や立場を越えて大変好評でした。(志賀玲子)



野上 真 講師



白井 祐浩 助教



グループディスカッションの様子

南日本リビング新聞社「かごしま子ども夢大学」に参画・協賛

志學館大学では、発達段階に応じたキャリア形成を支援するキャリア教育の観点から、昨年度より南日本リビング新聞社「かごしま子ども夢大学」事業に参画、協賛しています。今年も様々な学校から集まった小学5・6年生40名を対象に、全7講座を実施しました。

7月12日(土)、開講式後の第1講座「みんなで仲良くレッツ!コミュニケーション」では、リビングカルチャー倶楽部まなぼうカレッジそうしん本店教室(第5講座まで同所)にて、昨年に引き続き本学の石井佳世講師(臨床心理学)と志賀玲子准教授(キャリア教育)が鹿児島大学の有倉巳幸教授(社会心理学)とともにアイスブレイクやコミュニケーションゲームを担当しました。また、法学部4年の稲森公彬さん、人間関係学部4年日高美佳子さん、迫好亮さん、同2年の中美南穂さんの4名が学生スタッフを務め、鹿児島大学の学生と一緒に子どもたちの緊張をほぐし、笑顔を引き出す役割を果たしました。

7月19日(土)の第2講座「夢をかなえるはじめての一步」、7月24日(木)の第3講座「自分の未来を探しに行こう!パート

I」の後、7月31日(木)の第4講座「自分の未来を探しに行こう!パートII」では、本学と同じ志學館学園の系列校である志學館中部の梶原末廣教諭と上村悠馬教諭のもとポートフォリオ作成と自己・他者理解を進めました。

8月7日(木)の

第5講座「おとなは何のために働くの?」は、NTT西日本鹿児島支店、鹿児島トヨタ自動車、学研教室鹿児島事務局、セイカ食品、ペガハウス、マルヤガーデンズ、そして本学で働く職業人へのインタビューと壁新聞の作成等でした。本学からは図書館司書の権丈智美さんが取材され、鋭い質問にも丁寧に対応していました。8月20日(水)~27日(水)には、第6講座として第5講座の取材対象者の職場が就業体験を実施し、本学は26日(火)に6名を受け入れました。事務局各部署を回った後、図書館で実際に配架やカウンター業務を行い、「自分が装備した本がずっと残るのかと思うとぞくぞくした」との感想を述べる子もいました。さらには研究室にも訪問し、大学ならではの体験ができた子どもたちは、働くことと学ぶことについて考えを深められたのではないかと思います。

9月21日(日)、宝山ホールにて工藤公康氏の講演「あきらめないことが夢につながる」後、閉講式で修了証書と記念書籍の贈呈を受けた子どもたちの表情には、達成感があふれていました。

これらの事業を通じて、事後の子どもたちのステップアップを期待するとともに、社会が連携して生涯にわたるキャリア発達を促すことの必要性を再認識しました。

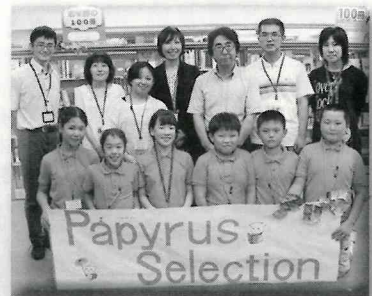
(志賀玲子)

*詳細は南日本リビング新聞社「かごしま子ども夢大学」事業webページをご覧ください。

<http://kodomoyume.net/>



ジョブインタビューの様子



図書館の蔵書数や作業の多さに驚きました

ニューライフカレッジ霧島 隼人学

「異文化交流で私と地域を再発見～ふれ、みとめあい、つながる～」を終えて

霧島市教育委員会・鹿児島工業高等専門学校との連携講座「ニューライフカレッジ霧島（隼人学）」は受講者の皆さんと学びを重ね、今年度も全10回を無事に終えました。今号では後半の6回分について報告します。第5回は国分公民館、第6回以降は鹿児島高専が会場でした。（岩橋恵子・山崎桂子）

第5回

アジア探訪
～マレーシアの魅力～



三島盛武氏
(鹿児島純心女子短期大学教授)

30年間同国との交流を続けている三島氏。マレーシア政府製作のP.Rビデオによる概要説明から始まりました。日本人が移住したい国のトップであるマレーシアは親日的で魅力ある国、我々は広い視野に立ち国際性を持って相手国と仲良くすることが大切、そのためにも相手のことをよく知らないといけないとのこと。プミトラやサトゥーなど同国の課題にも言及されました。会場からは懐かし「怪傑ハリマオ」の質問も。

第6回

中国との交流について
～民間からの考察～



勝間昭氏
(霧島市国際交流協会理事)

勝間氏は隼人町と中国耀県（現耀州区）の子ども交流に1995年以来携ってこられました。隼人の中学生を連れて中国へ行ったり、耀県の中学生をホームステイで迎え入れたり、その折々に感じたことを話されました。国際交流のポイントは「自国についてどれだけ語れるか」つまり自分の文化観・国家観が大切だ。外国人は愛国心が強いが、我々にも自分の住んでいる地域・国へのプライドが必要だとの指摘には同感させられました。

第7回

日本語を教えて、
教わる



新内康子氏
(志學館大学教授)

日本語教師として留学生に日本語を長年教えて来られた新内氏のお話は具体的なデータに基づくわかりやすいものでした。まず本県在住外国人の概況、その中の留学生について、そして新内氏がそれら留学生に教えていく中で逆に学んだことを話されました。特にネパールの人達はYESの身振りで首を横に振ることを動画で示されると会場から驚きの声。「出会い」から「交流」へ、そして「共生」にならなければ、と結論づけられました。

第8回

「子どもたち」の国際交流
～その意味と課題～



藤谷文孝氏（みぞべ西郷どん交流館メンバー・照明寺住職）

1947年生まれ藤谷氏が戦後日本の動きに自身の人生を重ねて回顧されるところから始まりました。そして1981年に誕生した「からいも交流」が地域おこしの原動力になったこと、そこから「日韓子ども大使友好の翼」が生まれたことに話が及び、「友好の翼」は20年間続けて来て大きな実績を実感しているとのことでした。日韓には戦前からの溝はあるが涙を流して抱き合えるのだ、そのためには知り合うことが大切だと力強く語られました。

第9回

ロボコンを通じた
地域との交流



上野孝行氏（鹿児島工業高等専門学校・技術専門員）＋高専生

NHK主催のロボコンで、毎年鹿児島高専が好成績を収めていますが、その取組みは、ロボコン参加を目的に設立されたメカトロニクス研究部という部活動です。その活動は、単にもものづくりの技術力だけでなく、技術者としての力も養い、地域の小学生等と交流によって発信力を高めたり、視野を広げたりする豊かな教育活動であることが語られました。講座の後半は、部員達実際にロボット操作と解説をし、受講者から絶賛を博していました。

第10回

シンポジウム&ワークショップ
「異文化交流で私と地域を再発見」

前半のシンポジウムでは、霧島市に住んで2年前後というアレクサンダー・シャピロ氏（霧島市国際交流員）、ベン・チュー・ジュミング氏（鹿児島高専留学生）、日高雄一氏（Iターン霧島市民）から、地域で大切にしたい事や変えてほしい事などについての問題提起が行われました。後半は、それらの問題提起を受け、5グループに分かれワークショップを行い、意見交換と共有をしました。「霧島の地域は自然は豊かだが、文化・芸術がもっと必要」「異文化を知ることは、自分の地域を知ること。郷土のことを大切に伝えていこう」「地域を離れて地域のおよさがわかった。そうしたUターン、Iターンの人の知恵を生かそう」等、異文化に接触したからこそ生まれる豊かな発想や問題意識が熱心に語りあわれました。

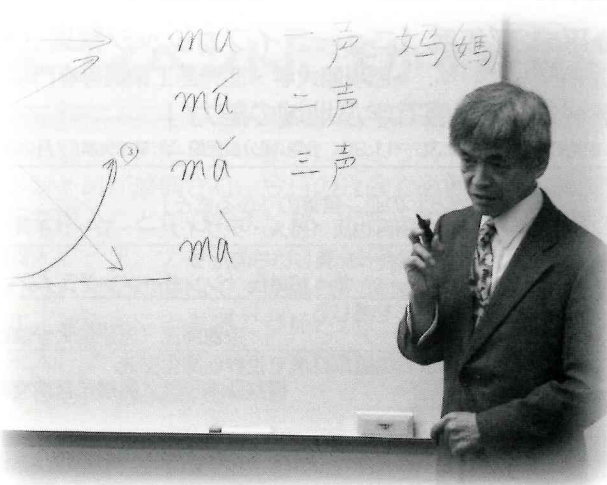


よくわかる中国語講座(初心者対象)～中国語で話そう～



2014年10月21日から2015年1月27日の毎週火曜日午後7時～8時30分、サンエールかごしまに於いて、「大学講師が教える・台湾でも通じる よくわかる中国語講座(初心者対象)～中国語で話そう～」が全10回講座で実施されました。

講師は本学名誉教授の谷口明夫先生です。谷口先生は中国語通訳案内士の国家資格を持ち、中国の標準語を流暢に話されます。今回、「台湾でも通じる」と銘打ちましたが、なまりのある中国語では、台湾では通じないこともあるようです。日本人観光客に人気の台湾。せっかく学んだ中国語が通じないと残念ですよね。その点、本講座は標準語を丁寧に指導しますので、「台湾でも通じる」中国語を学ぶことができますというわけです。



谷口 明夫 名誉教授

講座では、中国語の会話文を何度も繰り返し発音し、それを谷口先生が一人ひとり丁寧に指導していただきました。受講者からは、活発に質問があり、講座時間を過ぎることもしばしばで、「発音から丁寧に基本から教えていただき大変よかった。」「丁寧な指導を受けることができてとても楽しく受講できました。」といった感想が多く寄せられました。また、「大好きな中国を身近に感じられて幸せでした。」という感想もいただき、皆さん、大変有意義な講座となったようです。(牧窪直子)

共修講座

平成26年度・後期は、24名の方々に本学の「共修講座」を受講いただきました。皆様のお声をお届けいたします。

- *非常に楽しく受講いたしました。
- *授業内容が理解しやすく自分たちの日常生活にも適応できる内容が多く参考になりました。
- *専門的ながら、わかりやすい内容で大変勉強になりました。
- *いつもすばらしい時間をありがとうございました。
- *社会人ながらも学べる場があるということは、とても良いと思います。事務局の方々、先生方にも大変お世話になり感謝しています。
- *もっと人に知らせてあげたいと思いました。
- *現役学生との対話の場があれば嬉しく思います。

本学の学生にとりましても共修講座の皆様と共に学べることは、貴重な学びの場となっています。これからも皆様のご期待にお応えできますよう取り組んでいきたいと考えています。

(野浪俊子)

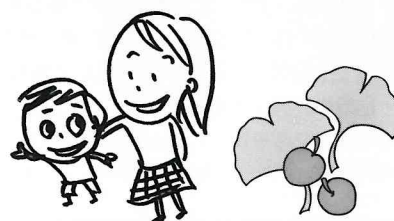
銀杏祭(展示)



2014年11月8日(土)、9日(日)に開催された第36回銀杏祭にて、生涯学習センターの活動記録を展示しました。

今後も地域の方々が生涯学習で人生が豊かになるよう、様々な企画を発信し、活動を紹介していきたいと思います。

(森実紀)





平成27年度 志學館大学 生涯学習センター 開講講座



志學館大学生涯学習センターでは、平成27年度の開講講座として下記のようなプログラムを企画しております。新たな学びのスタートとして是非ご活用ください。

◆平成27年度【ニューライフカレッジ霧島（隼人学）】

（志學館大学・鹿児島工業高等専門学校・霧島市教育委員会連携講座）

テーマ：「五感で学ぶ地域の魅力」

<前期(5月～9月) 9:30～11:30 会場：国分公民館／志學館大学(7月のみ)> <後期(10月～2月) 9:30～11:30 会場：鹿児島工業高等専門学校>

5/9 (土)	開講式 「ふるさと」の心 言葉の「ふるさと」 岡田哲也氏（詩人・デザイナー・エッセイスト）	10/10 (土)	霧島温泉のもたらす KOUNOU 六三四氏（温泉ソムリエ）
6/13 (土)	私が霧島で出会った美しいものたち 隼人加織氏（シンガーソングライター）	11/14 (土)	福山の「壺づくり黒酢」 長野正信氏（鹿児島県天然つぼづくり米酢協議会）
7/11 (土)	鹿児島の地形を感じる 宗建郎氏（志學館大学講師）	12/12 (土)	エンジョイ！霧島茶 竹之内裕子氏（日本茶インストラクター）
8/8 (土)	鹿児島生まれの薩摩琵琶で世界と文化交流 櫻井亜木子氏（薩摩琵琶演奏家）	1/9 (土)	太陽が作る宇宙の天気 ～宇宙の入り口鹿児島から太陽を見る～ 篠原学氏（鹿児島工業高等専門学校教授）
9/12 (土)	鹿児島弁という音楽 植村紀子氏（児童文学作家）	2/13 (土)	ワークショップ：五感で感じる地域の魅力 コーディネーター：岩橋恵子氏（志學館大学教授） 閉講式

※5/9（開講式）と2/13（閉講式）の時は、9:30～12:00までの時間となります。

◆《共修講座》

☆本学の正規授業（前期・後期）の一部を市民の皆さんに提供しています。

- ・受付期間 前期：4月1日（水）～4月9日（木）
後期：9月1日（火）～9月24日（木）
- ・開講式 前期：4月10日（金）12:30～
後期：9月25日（金）12:30～

◆《学校臨床セミナー》

☆2015年度 志學館大学公開講座
第15回 学校臨床セミナー

- ・会場：志學館大学
 - ・日時：8月（予定）
 - ・対象：主として学校・教育関係者、保護者等
- ※詳細は本学の生涯学習センターにお問い合わせください。



◆《よくわかる語学講座：前期【韓国語講座】後期【中国語講座】》

☆「よくわかる外国語講座」 志學館大学・鹿児島市生涯学習プラザ協働講座 ・会場：サンエールかごしま
・定員20名（申込者多数の場合は抽選となります。） ・受講料：12000円（全10回）

	日 時	内 容	講 師	受付期間
前期	5月12日（火）～7月14日（火） 毎週火曜日（10回講座）19:00～20:30	よくわかる韓国語講座（初心者対象） ～韓国語で話そう～	入 佐 信 宏 （志學館大学教授）	4月1日（水） ～4月30日（木）
後期	10月20日（火）～1月26日（火） 毎週火曜日（10回講座）19:00～20:30	よくわかる中国語講座（初心者対象） ～中国語で話そう～	谷 口 明 夫 （志學館大学名誉教授）	9月1日（火） ～9月30日（火）

◆《かごしま県民大学連携講座》

☆「志學館大学・かごしま県民大学連携講座」 定員30名（申込者多数の場合は抽選となります。申込受付は4月頃を予定。）

日 時	テ ー マ	担 当	受講料
・8月1日（土）～8月2日（日） 13:30～16:30（2回講座） ・会場：志學館大学	『中高年のためのつかって、わかる！ パソコン講座』～簡単！絵手紙を作ろう～	大 野 隆 士 （志學館大学准教授）	1000円
・9月5日（土） 14:00～16:00 ・会場：かごしま県民交流センター	『身近になった相続税』	井 上 隆 （志學館大学准教授）	500円

※上記の各開講講座やその他の詳細は下記の志學館大学生涯学習センターにお問い合わせください。

<編集後記>

志學館大学生涯学習センターが設立され15年を経て、センター通信も30号を発刊する運びとなりました。これも長きにわたり地域の皆様に支えられてきた賜と感謝申しあげます。

創立16年目を迎え、心も新たに皆様の学びと地域の発展に貢献してまいりたいと思います。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

（野浪・森）



お問い合わせ・お申し込み先



志學館大学生涯学習センター

住 所 〒890-8504 鹿児島市紫原1丁目59-1

Tel.099-812-8501 Fax.099-257-0308

URL <http://www.life.shigakukan.ac.jp>

Email life@shigakukan.ac.jp